



世界のお月見ってどんな感じ？ ベトナムのお月見イベント

テト・チュン・トゥー

9月の日本のイベントといえば、お月見。
月を見ながらお団子を食べるイメージが強いですが、
元はその年にできた作物の収穫を月に感謝する日なんだそうです。

世界にもお月見に似た伝統行事はあるのかなと調べてみたところ、
アジア圏内で似たようなイベントがあるようです！

私は特に、ベトナムのお月見が趣があって良いなと思ったので、
今月はベトナム風お月見をご紹介します。

ベトナムのお月見は、テト・チュン・トゥーと呼ばれ、
日本とは違って家族と賑やかに過ごすのが主流だそうです。
わざわざ実家に帰省する人もいるんだとか。
この日は子どもたちも遅くまで起きて屋台に繰り出して良い日なんだそうです。

ベトナムではお月見祭りの日に、獅子舞を踊ったり、灯籠を灯します。

灯籠を灯すのには言い伝えがあって、クオイの伝説が起源となっています。
※クオイの妻が、聖なる木であるカジマルに用を足したことがきっかけで、
妻が木に座った途端、木が急成長して月まで伸びていってしまいました。
クオイは彼女が地上に帰ってこられるよう、灯籠を灯したというのがクオイ伝説の概要。

現在ではいろいろな種類の灯籠が用意されているようで、デザインもおしゃれで素敵！
ずらりと並べて灯すと綺麗なんだろうなあ～。
ベトナムのお月見は日本よりも大規模なお祭りでした！

さて、ベトナムのお月見では、月餅というお菓子を食べるそう。
月餅は薄い小麦粉の皮の中に餡子が入っているお菓子で、
餡子の中には塩漬けにした卵黄や豚肉が入っているそう。
ちょっと不思議な味がするそうです。
家でなんとか作れないかと思ったのですが、
なかなか工程が多く難しそう…。
購入できないかネットで調べてみたところ、
結構なお値段で今回は断念しました…。！

う～ん、薄い小麦粉の皮に包まれた餡子…。
月餅風のお菓子ないかなあ
あ！あるじゃん、愛媛のお菓子里、
似たようなお菓子が(見た目が)
というわけで、9月のお月見は愛媛のお菓子を食べながら
ベトナム風お月見気分を味わいたいと思います(笑)

